

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第162号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月15日 14時40分ごろ	
発生場所	千葉港葛南区市川灯台から真方位136° 3,910m付近	
事故等調査の経過	平成21年6月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第五十五進康丸、498トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 140462、泊洋汽船有限公司</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船尾船底及び右舷側ビルジキール擦過傷、推進器翼先端曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、厚板約1,656.28トンを積載し、船首約3.51m、船尾約3.89mの喫水で千葉港葛南区市川に向け市川航路を航行中、千葉港市川第4号灯浮標の手前で出港する他船を避航するため、速力約5.0ノットにて右舵約5°を取ったところ、平成21年4月15日14時40分ごろ、船体に衝撃を受け、浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、後進全速をかけ、その場を離脱し、エンジンを停止して各部を点検したが、浸水など航行に問題がないことを確認し、15時00分ごろ神鋼物流岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 2</p> <p>海象：潮汐 低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、市川航路を航行中、反航する他船を避航する際、船位を正確に把握していなかったため、航路の右側端に寄りすぎた可能性があると考えられる。</p> <p>市川航路の航路幅は約230mである。</p>
原因	本事故は、本船が市川航路を北進中、同航路を南進する他船を避航する際、船位を正確に把握していなかったため、航路の右側端に寄りすぎて、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	